



第20弾

ありたい姿 探検記



■お問い合わせ

政策推進課

☎ 4125111内線235
☆41251102

前回のおさらい

トピック：イベントから見るまちづくり

・循環は町の未来に繋がる。

・私たちの周りを取り巻く環境、イベントは下川の未来を創る。

で会場は真剣なまなざしを講師に向っていました。

藤野先生講演「ゼロカーボンとは? (部抜粋)」

先月号は、昨年開催されたイベント「しもかわぐるぐるマーケット」を「2030年における下川町のありたい姿」の視点で共有しました。今月は、町民勉強会の様子をお届けします。

また、バケツにはきれいな水（再生可能エネルギー）を注ぎたままですよね。どんな水を選ぶかによって、地域への影響が変わります。

最後に、バケツの大きさを見直すことが重要です。暮らしに必要な水を守ることをまちづくりの軸とするなど似た部分が多く、SDGsを取り入れる際に下川町の事例が参考になつたため、昨年は下川町の視察ツアーに参加したところから尾崎室長と繋がることできました。

下川町の応援大使である、藤野純一先生（16ページ）を講師に、さらには特別講師として高知県土佐町企画推進課SDGs推進室長の尾崎康隆氏をお招きして、SDGs・気候変動の町民勉強会を開催しました。15人を超える参加者

【町民勉強会】今一度振り返ろう SDGs・気候変動 私たちにできること（2月19日 「モレビ）

トピック：イベントから見るまちづくり

循環は町の未来に繋がる。

私たちの周りを取り巻く環境、イベントは下川の未来を創る。

尾崎室長講演「四国の中心で『下川町愛』を叫ぶ（部抜粋）」

土佐町はSDGs未来都市に選定されており、「SDGsと住民幸福度に基づく『誰ひとり取り残されない』持続可能なまちづくり」を使命としている町です。あらゆる地域の水源地である土佐町の将来像は「永遠の水源地」であり、まちづくりの計画では、水源に生きる町民ひとりひとりの個性を最大化することがまちの持続可能性だと位置づけています。土佐町は、下川町にとっての森林のように水源を守ることをまちづくりの軸とするなど似た部分が多く、SDGsを取り入れる際に下川町の事例が参考になつたため、昨年は下川町の視察ツアーに参加したところから尾崎室長と繋がることできました。

本月は、SDGs・気候変動の勉強会の様子紹介しました。気候正義など、「正義」という言葉がありますが、私たちも自分たちも自分の「正義」をその都度見つめなおしながら、全体にとつての「良い」ことを考えていただきたいですね。

色々な観点での正義を大事にしたい

この尾崎室長の言葉が私を含め、参加者の心に刺さり、誰ひとり取り残されないために何が必要かを見つめなおす機会になりました。

